

令和元年度業務改善推進のためのモデル校の取組を紹介します②五稜郭中😊

今回は、市教委のモデル事業と合わせて道教委の「新時代の教育を支える働き方改革促進事業」(令和元年度)の指定校でもある、五稜郭中学校による留守番電話の導入と道教委指定事業の取組をお伝えします。

1 留守番電話の導入について😊

五稜郭中学校では、昨年10月から留守番電話の運用を開始。また、留守番電話の導入と合わせて日課表を見直し、下校時刻を15分早めることにより、部活動を17時半までに終え、後片付け、ミーティング後、18時には全生徒が完全下校する体制を整えました。



留守番電話の導入によって、電話が鳴らないことで先生方の心理的な安心度が高まり、電話対応以外の業務に集中できるようになったとのこと。また19時以降は留守番電話になるため、生徒指導関係などで保護者に連絡が必要な場合は、これまで以上に早めの対応を心がけるようになったそうです。また、全職員19時退勤の取組の実効性が高まったとのこと。

2 新時代の教育を支える働き方改革促進事業について😊

「新時代の教育を支える働き方改革促進事業」は、学校における働き方改革の実現を図るため、道内4校を対象として令和元年度に実施されました。本市では五稜郭中学校がモデル校として指定を受け、図1のとおり意識醸成・情報収集から、課題分析、実施策の立案、共有の深化、外部発信と、推進チームを中心として進めました。今年度は、新たに道教委の「働き方改革推進事業」の指定を受け、昨年度検討した方策の実施に取り組んでおり、今後、定期的に検証・改善を図り、取組の定着に向け、歩みを進めています。

図1 五稜郭中学校の進み方(手引「Road」より)

※本通信 No.2 で掲載した内容がよりパワーアップしています。



各校では業務改善の視点に立った見直しなどがすでに進んでいます。手引「Road」では、モデル校の取組をもとに働き方改革を推進する8段階のプロセスが紹介されています。例えば、「①課題意識を高める」では、1人ひとりの意見を批判することなく、しっかりと受けとめることで、教職員同士の信頼関係と進みやすさにつながることで、「③改革の目的から改善テーマを決定する」では、推進チームでの話し合いにおいて、その改革案が自校の重点教育目標に沿ったものとなっているかなど、それぞれのプロセスのポイントを紹介しています。今後、本通信で詳しく紹介します。

Office365 の Forms でアンケート調査をつくってみよう😊

今回は、先日市教委で実施した教職員の業務改善に関する意識調査の作成を例に実際にアンケートを作成し、回答を集計するまでの流れについて、ご紹介します。

なお、マイクロソフトホームページから、作成等の案内動画が見られますので、こちらも参照してください。(URL: <https://www.education.microsoft.com/ja-jp/course/ad9d7c5c/overview>)

- ①Office365 にログインしたら、「Forms」→「新規作成」と進み、作成画面に入ります。(図1)
- ②「新規追加」をクリックし、設問ごとにその回答の種類に応じたフォームを選びます。(図2)

図1 新規作成画面

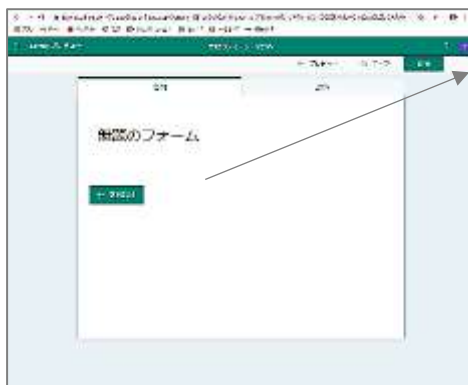
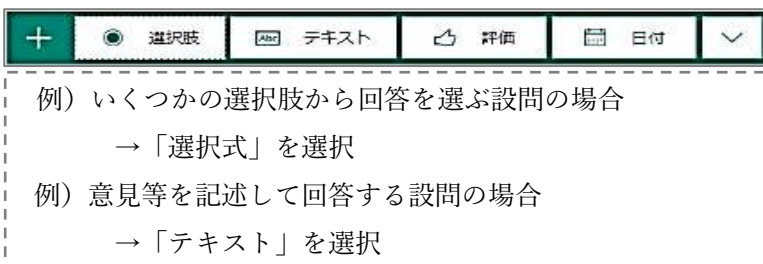


図2 作成フォーム選択肢



- ③「選択肢」をクリックすると、設問入力欄と選択肢入力欄が表示されるので、それぞれ入力していきます。(図3)

※選択肢を増やしたいときは「+ オプションを追加」で増やしていきます。

- ④次の設問を作成していく場合は、「+ 新規追加」をクリックし、進んでいきます。
- ⑤全て作成が終了したら、「プレビュー」で作成したアンケートをテストできます。

図3 設問作成画面



- ⑥作成が完了したら、「送信」をクリックすると作成したアンケートフォームの URL や QR コードも自動的に作成されます。(図4)
- ⑦回答は、自動的に集計されます。(図5)

図4 QR コード



図5 回答集計画面



これまでのアンケート調査は、回答用紙を配付し回収、入力・集計、分析…と大変な業務であったと思います。インターネットでの調査は、このように決まったフォームに設問と回答の選択肢などを入力していただくだけで簡単に作成でき、回答の集計も自動でしてくれる優れたものです。まずは、校内で試してみたいはいかがでしょうか。

「教職員の業務改善のための取組」は[市ホームページ](#)からご覧いただけます😊

このほか、「こういう情報がほしい」などのご要望がありましたら、教育政策課にお知らせください。